

2つ、男子用1つ、手洗いを設置する。

農作物の低温被害対策事業

問

キウイフルーツ・びわ・柿等の農作物の低温被害は、果樹の種類によって補助金に違いはあるのか。

答

農作物の低温被害対策事業費の補助金は、キウイフルーツ・びわ・柿が



被害を受けたキウイフルーツ

該当する。平年に比べて30%以上減少になったものに補助をするが、品目によって、補助率に違いはない。補助率は県が3分の1、市が3分の1を補助する予定になっている。今回の補助事業の残り3分の1は、JAえひめ中央が対応し、農家の負担はない。

オストメイト対応トイレの設置場所について

問

①オストメイト対応のトイレは、人工肛門とか人工膀胱とかをつけている方を対象とされるトイレであるが、ウエルピアのどこに設置するのか。
②利用者の立場に立った場所に設置するのか。

答

①設置箇所については、体育館の横の多目的トイレの部分に現在、設置予



オストメイト対応トイレ

定である。
②当初は館内に設置する予定であった。ウエルピアの管理者等と協議し、はつり工事等が必要になり、今の場所に変更した。利用者の立場に立つて、管理者や福祉課も交えて協議し、再度、館内に設置できるかどうか検討していきたい。

特別委員会最終報告

伊予市総合計画実施計画調査等特別委員会

今期定例会において、特別委員会として、最終報告を行った。

学校給食センター建設については、議会にも各種の陳情等が出ている状況から、当委員会としては、地元と市が協議を重ね、この問題が円満に解決され、財政的に有利な合併特例債の活用期限内の速やかな完成を強く望む。ただし、今後、建設場所の選定に長期間を要するようであれば、新たな候補地選定も視野に入れ、早急に再検討を行うこと。

第三セクター等経営改革プランについては、まちづくり郡中のみ民営化が決まっていない。今年度同会社の増資を行い、第三セクターとしての役割は薄くなっており、利

益を追求する会社といわざるを得ない。よって、他の第三セクターに先立ち民営化を視野に入れ再検討すべきと考える。

栗の里なかやまについては、累積赤字が年々増加傾向にあり、このような状態で24年度に民営化しても、解散せざるを得ない状況である。もし、会社が解散となった場合には、経営者の責任問題等の課題はあるが、地域住民、販売農家等への人的・財政的支援を行うなどの配慮により、地域の活性化に向けての対応をお願いしたい。

第三セクターの民営化の時期については、市の土地・建物を無償で使用し、地域活性化の拠点として、それぞれが地域の発展のために取り組んでいる中で、会社ごとに民営化の時期が異なることは、地域住民に対し、説明ができない。できれば同時期での民営化を望む。